



# 甲賀の自然

## 第10回 カモシカ

～身近な甲賀の自然から、興味深い話題を紹介します～

鈴鹿山脈といえば、カモシカを連想する方も多いのではないのでしょうか。

カモシカは、本州・四国・九州にしかない日本の固有種で、市内では土山地域の山地帯にすみ、人が近づけない険しい斜面を上手に歩きます。タメ糞をする習性があり、山道を歩くと時々見かけることがあります。

ニホンジカと似ているようですが、カモシカはシカの仲間ではなく、ウシの仲間です。シカの仲間よりも小柄でずんぐりした体型をしていて、4本の脚は太くて短めです。黒い円錐形の角がありますが、シカと違ってカモシカではオス・メスのどちらにもあり、また毎年生え変わることはありません。

世界には12種類のカモシカがありますが、ニホンカモシカはその中でも、もっとも原始的なカモシカだといわれています。そのため、ニホンカモシカは「生

きた化石」とも呼ばれ、昭和30年(1955年)に国の特別天然記念物に指定されました。一時は個体数も減りましたが、その後全国的には増加しているようです。

木の芽や葉をよく食べるようですが、市内では成長したスギ・ヒノキの植林地の増加による餌の減少が心配で、平成19年に発行した甲賀市レッドデータブックでは絶滅危機増大種に分類しています。



問い合わせ **みなくち子どもの森自然館**

☎ 63-6712 ☎ 63-0466

12月の休園日

7日(月)、14日(月)、21日(月)、24日(木)、28日(月)～1月4日(月)

# 甲賀市文化協会

## 連合会文芸欄

### 鮎河俳句教室

- ・ 秋風や点滴刻む音わびし
- ・ 西日差しゆらぐカーテン秋の風
- ・ 一人居に秋風そつと忍び寄る
- ・ 鈴虫の高音は何処戸開く
- ・ 雲行きも風の流れも秋に入る

### 大野公民館俳句教室

- ・ 親と子がコスモス迷路声はずむ
- ・ 庭掃けど隣の落葉遠慮なく
- ・ 虫の声聞きつゝ眠る孫の寝顔
- ・ こうろぎを聞きつゝ日記を書き治む
- ・ 長く見ぬ揺れる穂先に稲子見る

### 土山もつく会

- ・ コスモスの人恋ふ揺れに振り返る
- ・ 赤トンボ昔なつかし童唄
- ・ 月光に御堂の薨波打ちぬ
- ・ 名月や焼酎残し夫眠る
- ・ 糲殻を焼きて細々妻菜園
- ・ 秋彼岸墓石に蝶の動かさざる

### 山内俳句教室

- ・ 鬼灯を残し草々刈り上げし
- ・ 廃屋は時の流れや秋の風
- ・ 捨て舟の傾ぎて葦の風抜けり
- ・ 野仏を囲みて燃ゆる彼岸花



村田 静江

上野 兼松

水落 博

坂 勇

林 ミサヲ

中邨 豊

市井 孝次郎

中村 ヤエ

藤田 美智恵

市田 とし江

松山 多津子

田村 勝子

福永 昭子

福井 真理

大西 多喜男

藤田 恭子

みちえ

よしこ

みちを

ひさえ

土山町文化協会